

# 東京応化工業株式会社 決算説明資料

-2012年3月期第2四半期決算-

2011年11月8日

# 目次

- 1. 2012年3月期第2四半期連結決算 p.2**
- 2. 2012年3月期通期連結決算予想 p.12**
- 3. 新生東京応化の構築 に向けて p.20**

**2012年3月期第2四半期  
連結決算**

# 業績概要

(百万円、%)

	2010/9	2011/9		
			増減	増減率
売上高	37,478	40,961	+3,483	+9.3
営業利益	2,858	4,076	+1,217	+42.6
経常利益	2,835	4,242	+1,407	+49.6
当期純利益	1,597	2,488	+891	+55.8

● 期初計画との差異 (2011.10.25 業績予想の修正を公表)

- ・ 売上高 :  $\Delta$ 4億円 (413億円 $\rightarrow$ 409億円) 内訳: 材料事業+6億円、装置事業 $\Delta$ 10億円

材料事業: エレクトロニクス機能材料・高純度化学薬品の計画比増加

装置事業: 検収スケジュールの遅延による減少

- ・ 営業利益: +12億円 (28億円 $\rightarrow$ 40億円)

材料事業の販売数量増加、装置事業の採算性の改善、経費削減等の効果

# 営業外損益・特別損益

(百万円)

	2010/9	2011/9	前年比
<b>営業外損益</b>	<b>△23</b>	<b>165</b>	<b>189</b>
( 営業外収益 )	(281)	(378)	(97)
受取利息・配当金	121	124	3
持分法による投資利益	21	101	79
( 営業外費用 )	(304)	(212)	(△91)
為替差損	173	67	△105
租税公課	72	112	39
<b>特別損益</b>	<b>△72</b>	<b>△88</b>	<b>△15</b>
( 特別利益 )	(237)	(5)	(△232)
貸倒引当金戻入額	230	—	△230
( 特別損失 )	(310)	(93)	(△217)
投資有価証券評価損	124	26	△98
固定資産除却損	56	50	△5
資産除去債務会計基準適用	74	—	△74

# 事業別セグメントの業績

(百万円、%)

	2010/9	2011/9		
			増減	増減率
売上高	37,478	40,961	+3,483	+9.3
材料事業	35,544	34,475	△1,069	△3.0
エレクトロニクス機能材料	20,832	22,389	+1,556	+7.5
高純度化学薬品	12,847	11,747	△1,099	△8.6
装置事業	1,933	6,486	+4,553	+235.5
営業利益	2,858	4,076	+1,217	+42.6
材料事業	5,677	5,260	△416	△7.3
装置事業	△1,259	290	+1,549	—
消去又は全社	△1,559	△1,474	+84	—

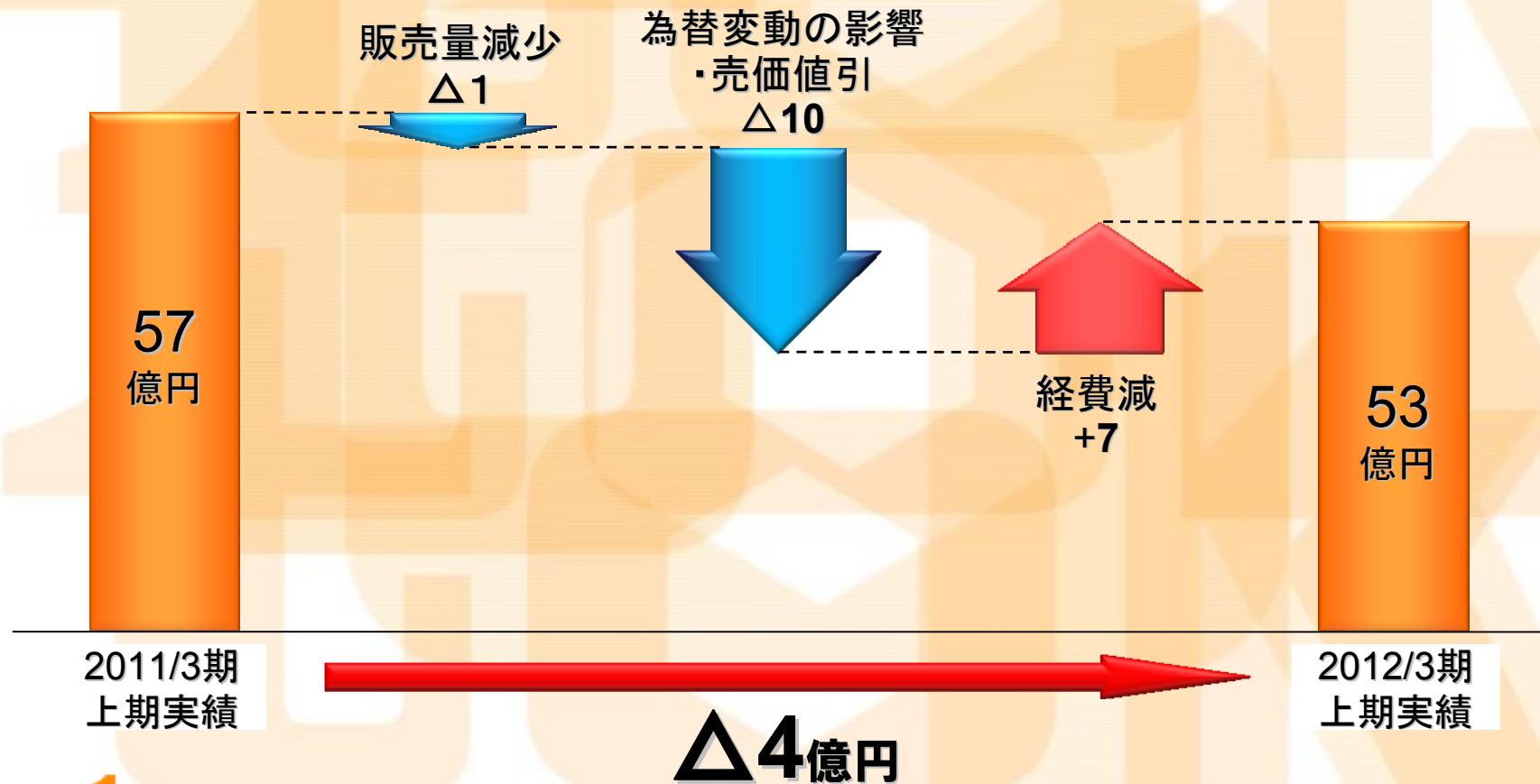
(注) 印刷材料事業を2011年3月1日付けにてEastman Kodak Company(米国)へ譲渡。

印刷材料事業の2010/9の売上高は1,844百万円、2011/9の売上高は315百万円(△1,529百万円・△82.9%)

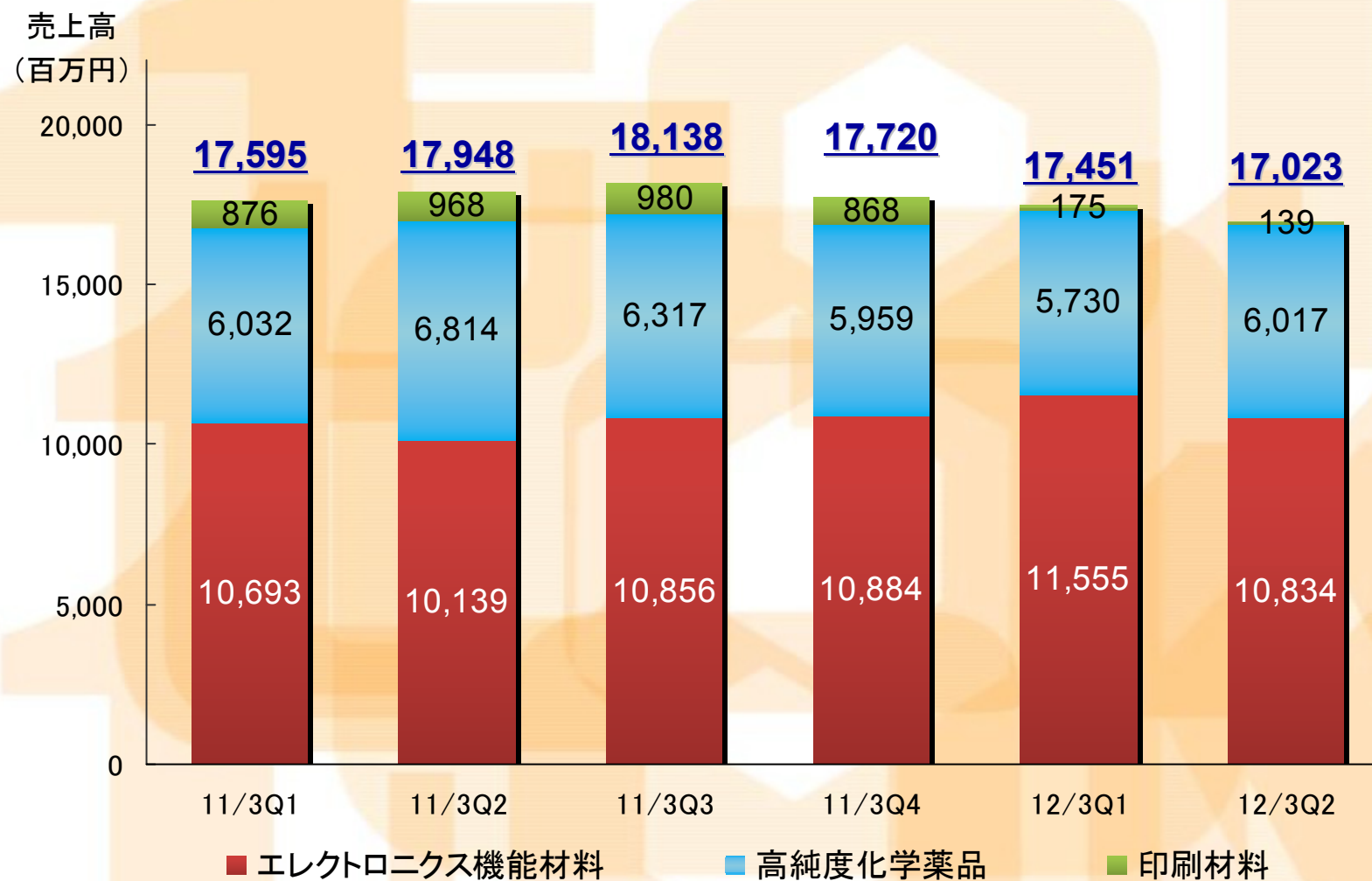
装置事業の売上は消去後の数字

# 営業利益の増減内訳（材料事業）

2011年3月期上期実績 対 2012年3月期上期実績



# 材料事業の売上内訳

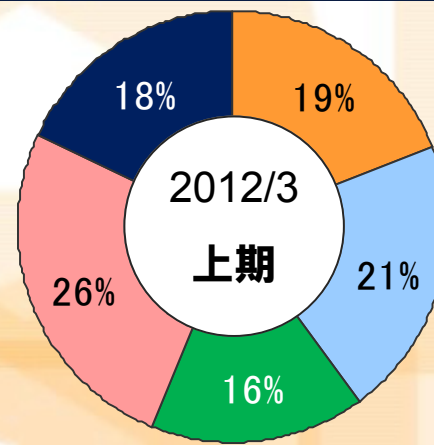
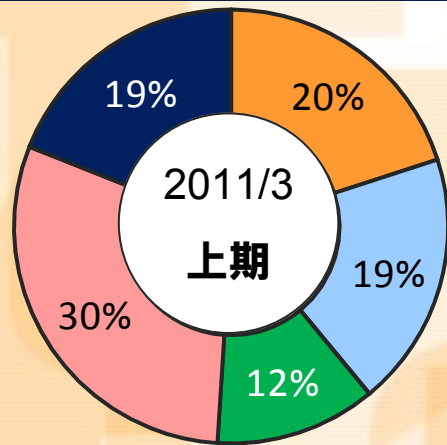


(注) 印刷材料事業を2011年3月1日付けにてEastman Kodak Company(米国)へ譲渡。  
2011/3期第2Qにアジア向け半導体材料の販路を一部変更。



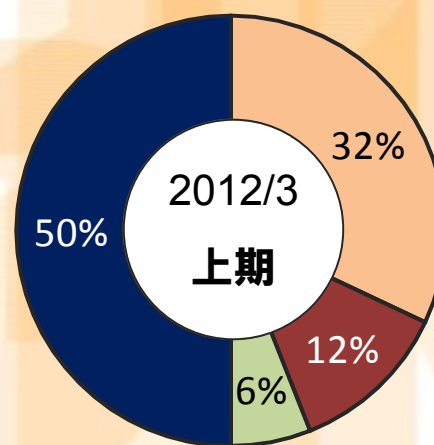
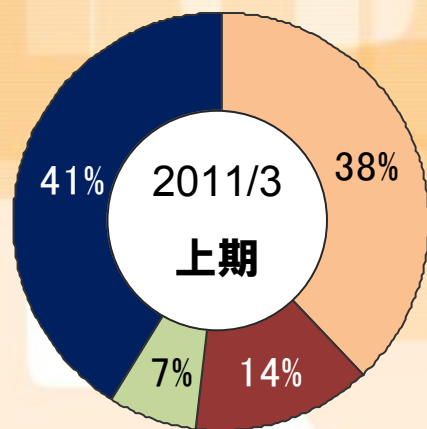
# (ご参考) エレクトロニクス機能材料部門

## エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成



- g+i
- KrF
- ArF
- FPD
- その他

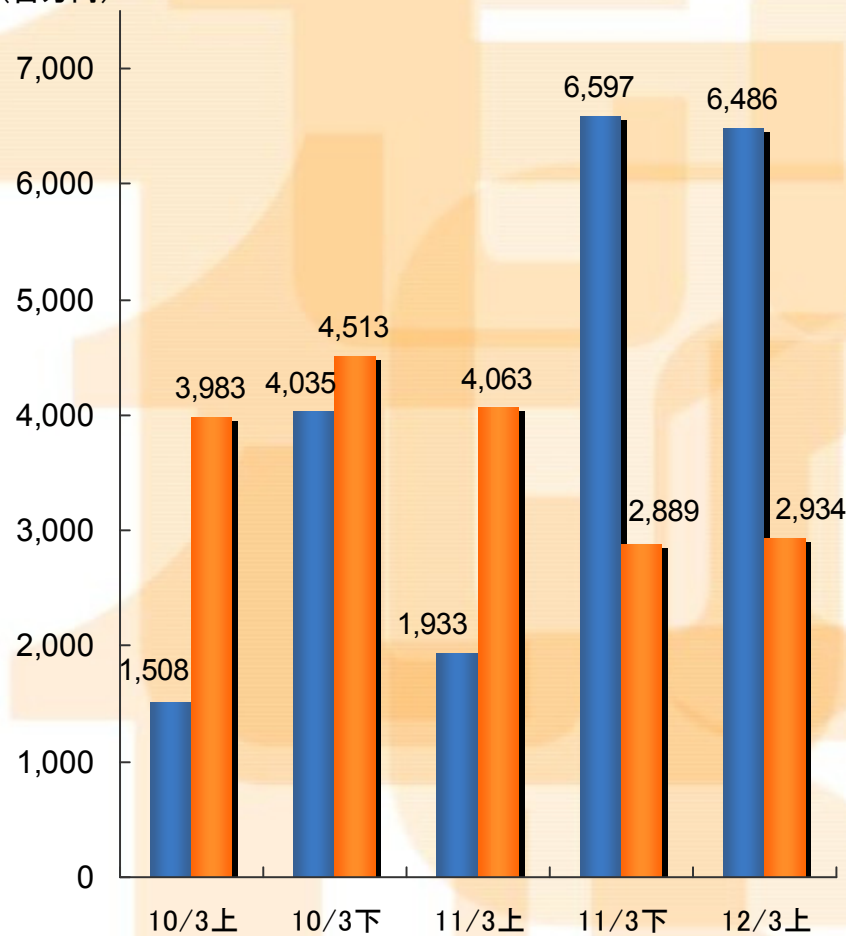
## 半導体フォトレジストの地域別売上構成



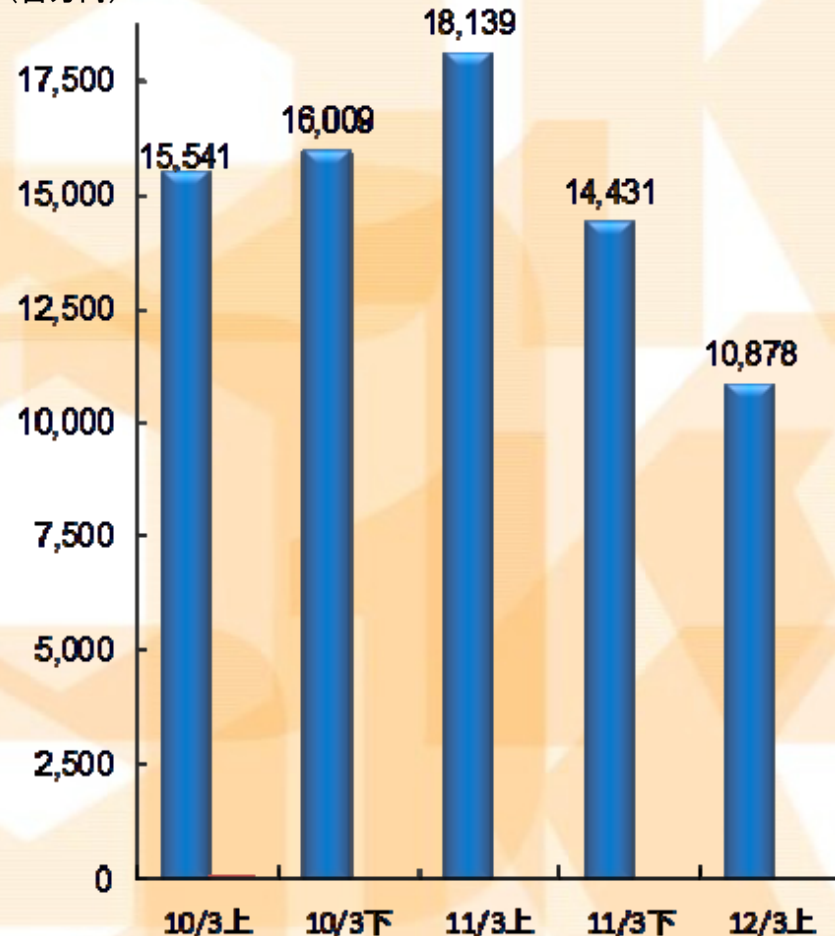
- 日本
- 北米
- 欧州
- アジア
- その他

# 装置事業の推移

売上高・受注高  
(百万円)



期末受注残高  
(百万円)



■ 売上高 ■ 受注高

■ 受注残高

# 比較貸借対照表

(百万円)

	2011/9	11/3末比	
流動資産	87,005	△6,793	売上債権 △1,291 たな卸資産 △3,361 繰延税金資産 △903
内、現金預金	47,291	△733	
有形固定資産	30,099	△316	建物及び構築物 △512 工具器具備品 △214 建設仮勘定 +448
無形固定資産	192	△65	
投資その他の資産	25,830	+3,218	長期預金 +4,000 投資有価証券 △484 繰延税金資産 △208
流動負債	21,238	△5,174	
買入債務	8,084	△330	
前受金	6,509	△4,668	未払法人税等 △201 未払費用 △403 設備関係未払金 +526
固定負債	2,067	△38	
純資産合計	119,822	+1,254	利益剰余金 +1,678 その他有価証券評価差額金 △289
総資産	143,127	△3,957	

# キャッシュフロー

(百万円)

	2010/9	2011/9
営業キャッシュフロー	+5,061	+5,366
税金等調整前当期純利益	+2,762	+4,154
減価償却費	+2,150	+1,853
売上債権の増(-)減額	△1,073	+1,399
たな卸資産の増(-)減額	△4,070	+3,405
仕入債務の増減(-)額	△431	△338
前受金の増減(-)額	+5,673	△4,668
法人税等の支払い	△425	△564
投資キャッシュフロー	△3,393	△11,985
財務キャッシュフロー	△780	△1,039
換算差額	△294	+22
現金及び現金同等物の増減額	+592	△7,634

装置事業の検収促進

主な内訳  
 定期預金の純増 △1,898  
 長期預金の純増預入 △9,000  
 有形固定資産の取得 △1,105

主な内訳  
 配当金の支払 △1,038  
 (含む少数株主)

**2012年3月期通期  
連結決算予想**

# 業績予想について

期初計画からの修正を公表(10月25日)

売上高 :  $\Delta 20$ 億円 (820億円 $\rightarrow$ 800億円)

営業利益 : 不変 (64億円 $\rightarrow$ 64億円)

## 売上高の修正

- **材料事業** : 期初計画比 $\Delta 18$ 億円減額
  - ✓ 為替前提変更による予算組み替え (82円/USドル $\Rightarrow$ 78円/USドル)
  - ✓ 半導体生産の調整リスクの織り込み
  - ✓ 液晶パネル生産の低迷を想定
- **装置事業** : 期初計画比 $\Delta 2$ 億円減額
  - ✓ 検収スケジュールを勘案

営業利益、経常利益、当期純利益は期初計画通り。

- ✓ 下期売上計画の修正、コスト増加の要因の織り込み

# 業績予想概要（通期）

（百万円、％）

	2011/3 実績	2012/3予想	
		増減	増減率
売上高	79,934	80,000	+65 +0.1
営業利益	6,041	6,400	+358 +5.9
経常利益	6,641	7,000	+358 +5.4
当期純利益	3,649	4,200	+550 +15.1

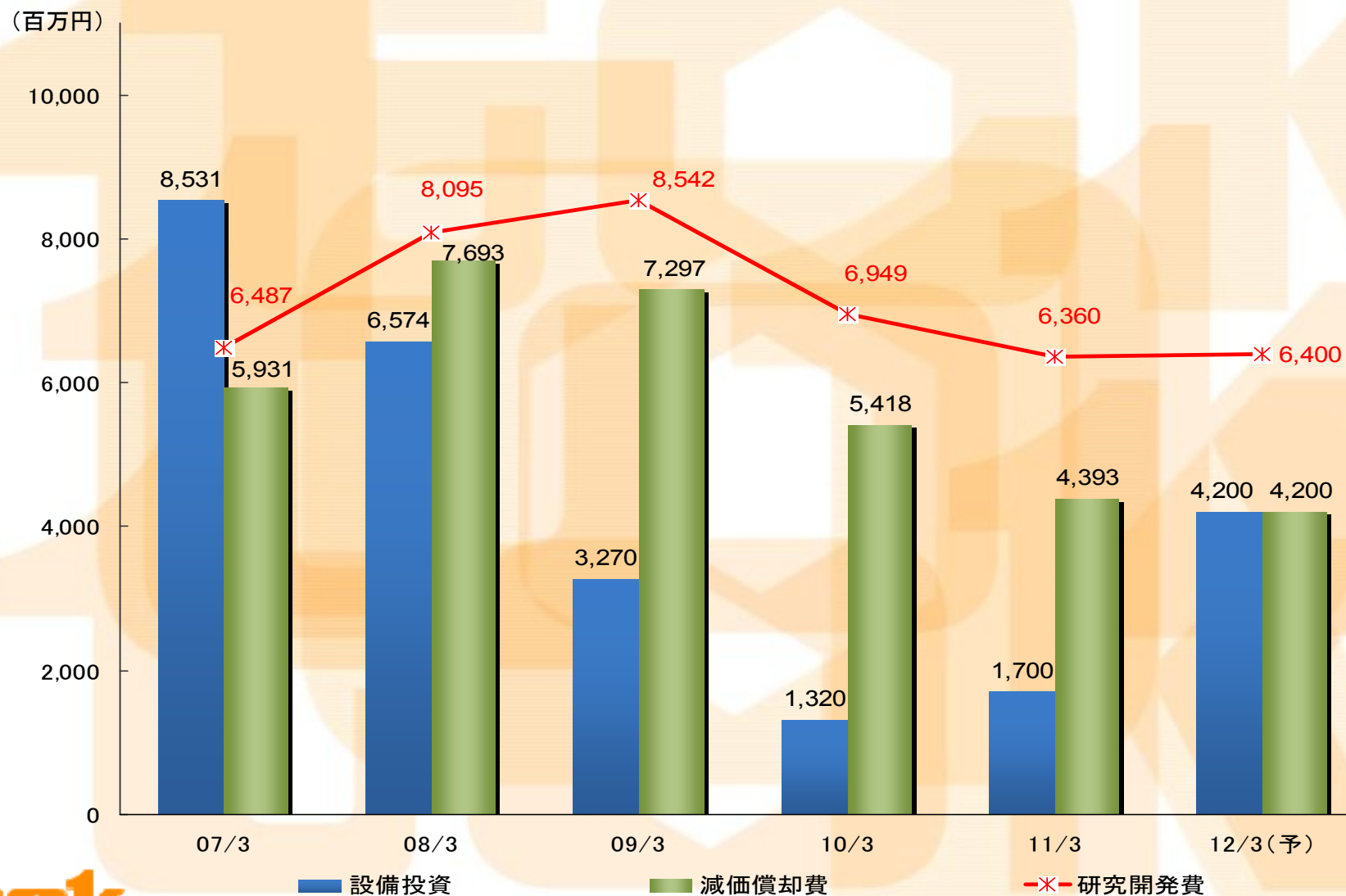
●為替（US<sup>ドル</sup>）：2011年3月期・・・84.8円／<sup>ドル</sup>

2012年3月期下期・・・78円／<sup>ドル</sup>の前提

●売上高：印刷材料事業撤退に伴う減収を補い、前年並みの水準

●営業利益：円高の影響はあるが、装置事業の利益改善等により増益

# 設備投資・減価償却・研究開発





# 事業別セグメント業績予想

(百万円、%)

	2011/3 通期実績	2012/3通期予想	
		増減	増減率
売上高	79,934	80,000	+65 +0.1
材料事業	71,403	66,200	△5,203 △7.3
エレクトロニクス機能材料	42,573	42,800	+226 +0.5
高純度化学薬品	25,124	22,900	△2,224 △8.9
装置事業	8,530	13,800	+5,269 +61.8
営業利益	6,041	6,400	+358 +5.9
材料事業	10,717	8,600	△2,117 △19.8
装置事業	△1,384	900	+2,284 —
消去又は全社	△3,291	△3,100	+191 —

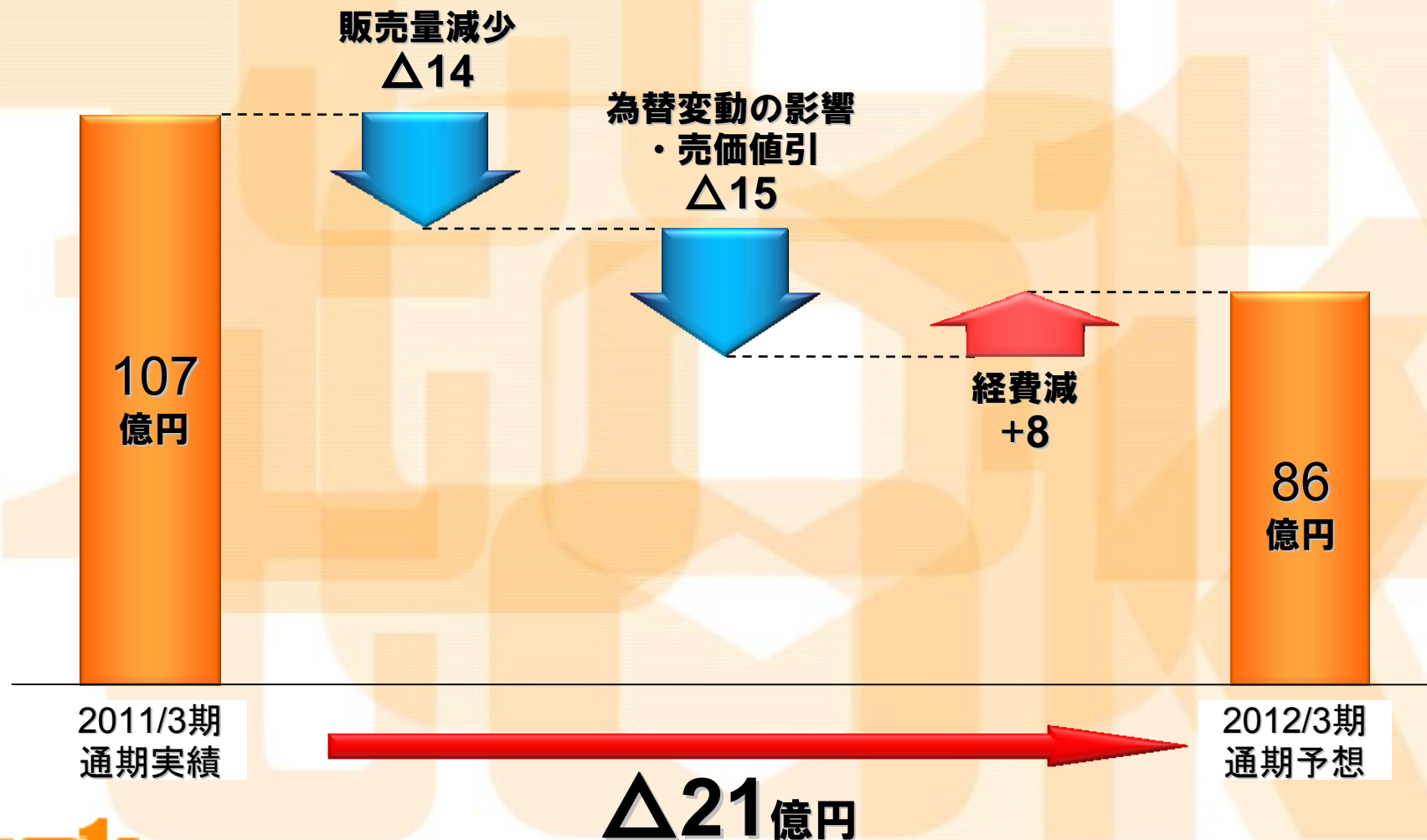
(注) 印刷材料事業を2011年3月1日付けにてEastman Kodak Company(米国)へ譲渡

印刷材料事業の2011/3通期売上高は3,693百万円、2012/3通期予想売上高は500百万円(前期比△3,193百万円、△86.5%)

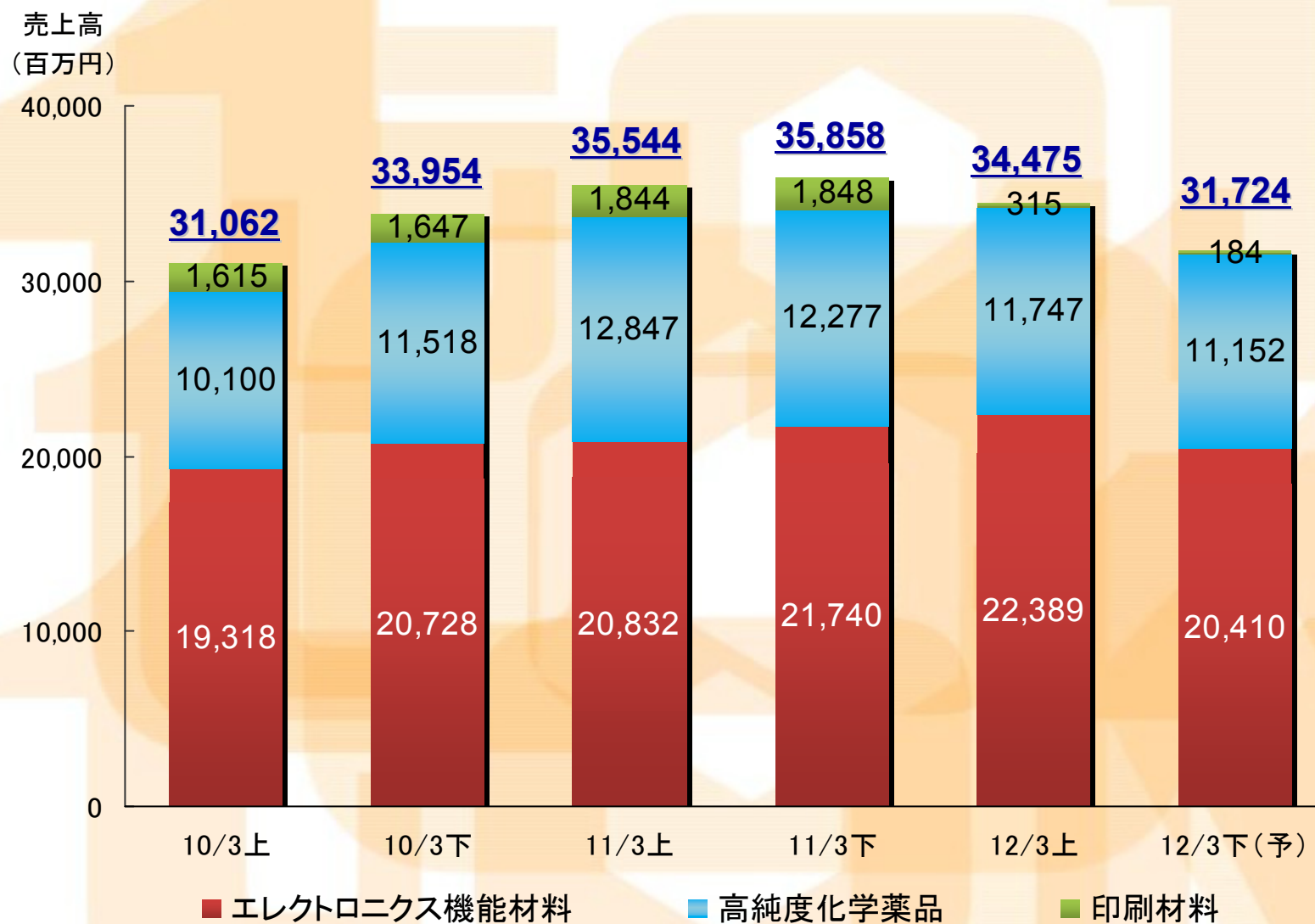
装置事業の売上は消去後の数字

# 営業利益の増減内訳（材料事業）

2011年3月期実績 対 2012年3月期予想



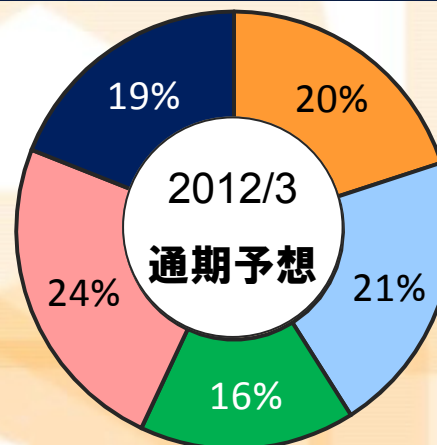
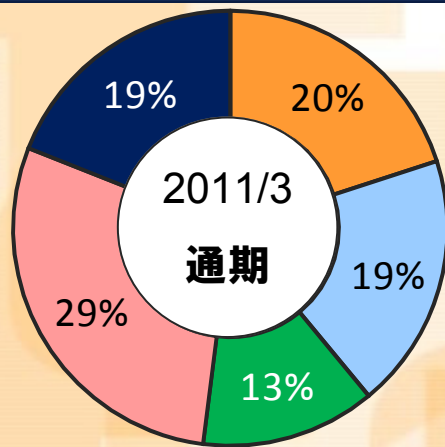
# 材料事業の売上内訳（予想）



(注) 印刷材料事業を2011年3月1日付けにてEastman Kodak Company(米国)へ譲渡。

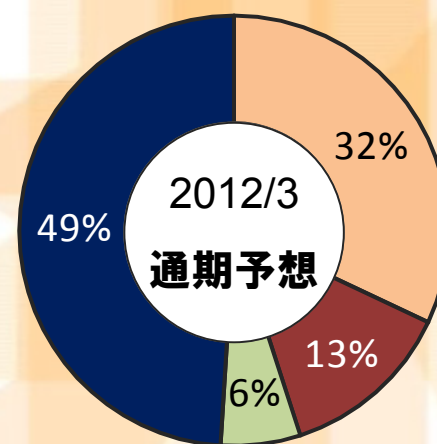
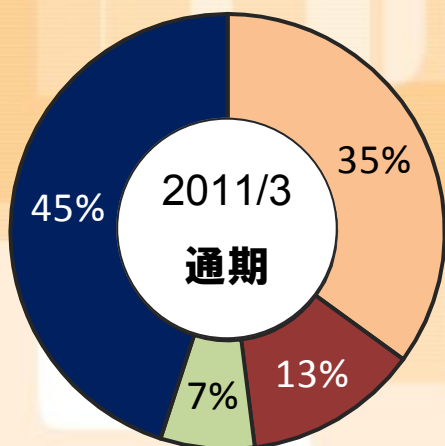
# (ご参考) エレクトロニクス機能材料部門

## エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成



- g+i
- KrF
- ArF
- FPD
- その他

## 半導体フォトレジストの地域別売上構成



- 日本
- 北米
- 欧州
- アジア
- その他

(注) 2011/3期第2Qにアジア向け半導体材料の販路を一部変更。

# 新生東京応化の構築に向けて

# 「新生東京応化」構築の方向性

## 成長軌道に向けて、「新生東京応化」を構築する

・企業間競争の激化

・技術開発のスピードアップ

事業環境

・価格競争の激化

の変化

・製品ライフサイクルの短期化

### 1. ワールドワイドでのマーケティング力の強化

⇒海外子会社とのネットワークの活用・情報共有化

### 2. 技術開発の更なるスピードアップ

⇒既存コア材料の周辺材料、非感光性材料にも注力

### 3. 新事業の早期確立


⇒他社とのコラボレーション、コンソーシアムの利用、知的財産の活用

# 幅広い製品の拡大、成長ドライバーの育成

チーム力を高め、マーケティング力を強化する



# 経営目標



企業力の強化

企業構造の変換

高付加価値製品の  
継続的提供

持続的な収益の向上



<http://www.tok.co.jp/>

(ご注意)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。